



# 年頭の初



## 大町町議会議長 三谷 英史

### "迎春"

携し、広域的に流域治水に取り組むことで、効果的な内水氾濫対策を進めていかなければならず「できることはすべてやる」という気持ちで全力で取り組んで参ります。

他にも、子どもの健全な育成と、子育て世帯を応援するための「子育て支援・教育の充実」や、大町への定住や移住の動因としていただくための「定住移住促進政策」、町民の皆様健康を守り、幸せ向上のため

令和4年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、日ごろから私ども町議会に対しまして、温かいご支援と多大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が世界規模で拡大する中で、新しい年を迎えることになりました。世界中で、多くの人々が生存の危機と生活の困難に直面している現状で、昨年末には、新たな変異株「オミクロン株」の感染者が国内でも確認されるなど、昨年引き続き、対策に追われる一年になろうかと思えます。

そのような中、昨年8月の記録的大雨は、令和元年佐賀豪雨に引き続き県内各地に大きな被害をもたらしました。本町では幸いにも人的被害は無かったものの、浸水深、浸水エリアが前回災害を上回るなど広範囲に甚大な被害を受けました。被災されました皆さまには、心よりお見舞いを申し上げます。また、献身的な災害救助活動に取り組んでいただきました消防団の皆さまには改めてお礼申し上げます。更に、復旧に際し皆さまから頂きました善意と復旧ボランティア

の「健康・福祉の増進」など、喫緊の課題に柔軟に対応することにより、「住みたい、住んでみたい」と思ってもらえる町づくり、子どもたちの声が弾む元気な町を目指し、前へ前への施策に取り組んで参ります。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

対しましても重ねてお礼申し上げます。

さて、わが国は世界に例を見ない速さで人口減少・超高齢社会に向かっており、本町も例外ではありません。そうした中、豪雨災害からの復旧・復興を優先しつつも「子育て支援」「絆づくり事業」「定住移住促進」などの事業が重点的に進められています。本議会はこれら事業の推進にあたり、使命であります町民の皆さまの福祉増進と町政の発展に全力を注いでまいります。

また、昨年の12月定例会からケーブルテレビでの録画放送を開始しました。ぜひご覧いただき、町政への関心を高めていただければと思っております。今後とも積極的に情報を発信していくとともに、町民の皆さまの声をしっかりと聞き、町政に反映できるよう引き続き議会の活性化に取り組んでまいります。

どうか、今年も町議会に対し、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年こそ町民の皆さま方にとって幸多き一年となることを深くご祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。